

2026年3月31日

学校法人山口学園
ECCアーティスト美容専門学校
学校関係者評価委員会

ECCアーティスト美容専門学校 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人山口学園 ECC アーティスト美容専門学校 学校関係者評価委員会は、2026年3月2日に学校関係者評価委員会を開催しましたので以下のとおり報告いたします。

1 開催日時：2026年3月2日（月）16:30～18:10

2 場所：ECCアーティスト美容専門学校（1号館201教室）

3 参加者：学校関係者評価委員（「ECCアーティスト専門学校 学校評価実施規定」選出区分）

【関連業界等関係者「同第12条第1項（1）」】

大久保 紀子 氏（一般社団法人 ジャパン・ビューティメソッド協会 JBMA）【委員長】

荒川 悠子 氏（株式会社ガモウ関西）

竹村 辰則 氏（株式会社 thsd-5）

【卒業生「第12条第1項（2）」】

中野 りか 氏（ECCアーティスト美容専門学校卒業生）

【保護者または地域関係者「第12条第1項（3）」】

原田 道子 氏（ECCアーティスト美容専門学校在校生保護者）

【その他校長が必要と認める者「第12条第1項（4）」】

貴治 康夫 氏（立命館高等学校）

【同席者】

中村 竜二 ECCアーティスト美容専門学校 学校長

川添 雅英 ECCアーティスト美容専門学校 副校長

長尾 邦光 ECCアーティスト美容専門学校 キャリアセンター責任者

下西 智也 ECCアーティスト美容専門学校 入試課責任者

村松 杏香 ECCアーティスト美容専門学校 広告広報課

山本 恭子 ECCアーティスト美容専門学校 専任教員

山崎ひろみ ECCアーティスト美容専門学校 教務課

令和 7 年度第 2 回学校関係者評価委員会では、①第 1 回学校関係者評価委員会にいただいたご意見・ご指摘への対応状況の報告、②2025 年度の学校運営に関する報告、またそれぞれの報告事項に対する参加委員様からのご意見・質疑応答という形で進行。

① 第 1 回学校関係者評価委員会でいただいた課題に対するご意見と学校の取り組み報告(中村)

・休退学防止、モチベーション維持の課題について

➡学生生活の充実、満足度向上を図る。行事を学生会が主体となって動かす取り組みを実施。

・保護者連携について

➡入学前の保護者ヒアリングを実施。スムーズにクラスに入っていけるよう、必要に応じて担任やスクールカウンセラーと連携。そういったケアが必要な学生は年々増加傾向。

② 2025 年度学校運営振り返り

募集(下西)

入学予定者は昨対 115%。情報をシンプルに高校生に届けていく。受け取り手に ECC の強みが明確に伝わるような取り組み。個の対応を重視するコミュニケーションを作っていく。

就職(長尾)

2 月末時点内定率 97.9%。残り 3 名が活動中。留学希望者も増加傾向(特に韓国)。韓国ヘア・メイクができるサロンも学生から人気。韓国発日本支店サロンを希望する学生もあり、今年度内定実績も出ている。今後も『韓国』が就職活動の面でもキーワードになっていこう。

福利厚生がどのサロンも整い似通ってきたため、何を軸に企業を選択するのか？という点が学生の課題になっていく。今後『個別指導』もキーワードに。学生と企業のマッチングの精度を上げていく。デジタル化も同時に進め、学校が持つ企業の情報を整理する。

▶ 募集・就職に関するご意見

竹村様：就活ペースがゆっくりかつ長くなっている。学生にも焦りは見られない。韓国系サロンがメジャー化してきた。認知が進んでいるのを感じている。

荒川様：学生アンケートでは就活で重視する点、人間関係が 1 位。以前は給与だった。次いで雰囲気。実際に見てみたいとわからないことを重視する一方でサロン見学数が減少傾向でマッチングの精度が上がらない。情報は多いが、何を軸に考えるかのフォローが必要。

貴治様：就職以外の進路として、留学はどこへ？また進学者はどこへ？

➡韓国への大学進学、カナダ等へのワーキングホリデーがいる。韓国で働きたい学生が増えているが、ビザ取得ハードルが高いため、まずは大学に入学して就労ビザの取得をめざすケース。(長尾)

➡将来韓国渡航をめざす学生に対応するため、韓国語授業を選択科目として開講している。(川添)

貴治様：就活情報データベース化について。どういった情報を学生が求めているか？

➡サロンのエリア・雰囲気、どんな働き方ができるかを重視する傾向。(長尾)

原田様：娘の第一希望の企業は経験者のみの採用だったため、在学中にアルバイトしていたサロンでまずは経験を積むことになったが、新卒採用をしない企業は多いのか？

➡美容室は新卒採用が多いが、セットサロンは経験者のみのケースもあり、アルバイト勤務を経て正社員雇用につながるケースはある。(長尾)

原田様：就職説明会の参加者が伸びないのは、20 歳を超えると子供に任せている保護者も多いのでは。

➡2024 年度まではオンデマンドだったが、2025 年度からは就職保護者会を対面で開催。保護者様との接点を増やしたい目的。(中村)

中野様：就職活動の授業は現在どのような形で実施されているのか？

➡卒業前年度の後期から就職対策授業を実施。サロンの探し方・自己分析からスタート。

授業自体は講義形式だが、就活が本格化する卒業年次前期には個人面談を併用しながら

希望サロンの聞き取り・提案を行っている。(長尾)

大久保様：サロンの情報アップデートはどうしているか？

➡就職フェア等の場でサロンの方から直接ヒアリング、キャリアセンターの中で共有できる仕組み作りをしていく。(長尾)

② 2025 年度学校運営振り返り

教務 教育成果・学修成果について(川添)

コンテスト、インターンシップ(外部プロジェクト)への参加、卒業制作発表会「E コレ」、検定、進級卒業率、学生アンケート結果について報告。各学年学期末に学習成果発表会を実施し、自分の学びを言語化したり、作品を自分の言葉で説明できる人材を育てていきたい。授業アンケート数値に大きな変動は見られないが、進級率が過去 5 年でワーストとなった。学生の変化に対応しきれていなかった。次年度は進級率・卒業率の向上が急務。

ビューティアドバイザーコースでの接客力強化の取り組み報告(山本)

卒業後即戦力として接客力を発揮できることが BA コースの強み。在学中に全員が店頭インターンシップに行くことが現状難しいなか、販売経験を積ませるため学内でのシウウエムラの販売会を実施。学習したことを体験的に学ぶことを目的とし、お客様へのタッチアップ・個別対応を実践。美容部員は数字を求められる職種だが、「売れない」ことで心が折れ離職につながるケースがある。売上につながらないときにどう乗り越えていくかという経験を、学生のうちに得る機会になることも期待。学生アンケートでは、目標を達成できなかったときの気持ちの切り替え方を学べたので入社してからも頑張りたい、という声もありねらった効果が得られた取り組みとなった。

▶ 教育成果に関するご意見

荒川様：社員育成の場面で、こちらから言い過ぎるのではなく、自分で違和感を言語化(アウトプット)することをさせている。納得感が成長につながる。

貴治様：E コレのメインテーマは学生に決めてもらうのもおもしろいのでは。フォトコンテストがあるが、フォトを学ぶコースはないのか？

➡コースとしてはないが、授業はある。自分の作品の見せ方を学ぶ。(川添)

貴治様：大阪市主催の小中学生対象イベント・夢プロジェクトでの在校生チューターは良い取り組み。進級率卒業率が芳しくないことについて要因として、現時点で考えられるものはあるか？

➡退学理由として多かったのは、業界に対して興味がなくなったというもの。

いかに入学時の意欲を持続させるかが課題。(川添)

貴治様：販売会は学生自身が自分の心をマネジメントする訓練になっている。気持ちの持って行き方を学ぶというのは大きな学修成果。

原田様：2 年続けて E コレを見に行ったら。ヘアメイクコースなのにヘアメイクがよく見えず残念だったが、今年度は近くで見られるようになり、意見が反映されていて良かった。

販売会のお客様は誰を対象に実施したのか？

➡特別価格商品の販売会では学園内の教職員・学生のみを対象とした。E コレでは一般の方にも販売した。

姉妹校の学生も購入に来てくれ、年齢・性別を問わず接客ができる機会となった。(山本)

中野様：現場で在校生インターンシップと一緒にいることがあるが、年々レベルアップを感じる。一方 E コレは衣装に目がいつってしまう。ヘアメイクを学んでいるのに、制作面でも衣装に時間をかけすぎているのでは。

竹村様：進級率については、学外に要因のある学生もいるかつ、学生アンケート結果は良いことを考えるとそこまで気にしなくてもいいのでは。中身ではなくマッチングに要因があるのではないか。

大久保様：インターンシップが充実している。参加者募集はどうしているのか？

➡コースで希望者を募る場合と、現場に合わせて学生を推薦するケースもある。基本的には授業のない日に参加するが、授業に代わる成果が見込める案件は公欠となる。

②2025 年度学校運営振り返り

高等部(川添)

開講 3 年目を迎え初めての卒業生を送り出す。E コレにも参加し、学修成果を保護者様に見ていただける機会となった。2 年生はコンテスト入賞・韓国研修、1 年生は留学生交流・校外学習を実施。1 年生は開校以来一番高い進級率となった。

▶ 2025 年度学校関係者評価委員会を終えて委員様からの感想総括・感想

貴治様：通学・学習に課題を抱える学生は多い。広い見地に立って教育を考えていきたい。

原田様：学校を運営するのにたくさんのことを考えてされているのがわかり良い機会となった。

竹村様：ECC の卒業生を中途採用したこともある。共通して美容が好きだと思っている。何かしらの理由で離職しても、美容が好きで業界を離れない卒業生を輩出できているのでは。

荒川様：入学者が増えたのは喜ばしい。美容業界をめざす学生がひとりでも増えてほしい。美容を好きな人材を一人でも増やしていくべく、引き続きお手伝いができればなと思っている。

大久保様：卒業後も長く業界で活躍できる人材育成のため、課題改善に取り組まれている。様々なフィールドの意見をこの場で聞かせてもらった。同じ教育の立場から協力していきたい。

2025 年度・学校関係者評価委員会でのご意見を踏まえて、2026 年度は下記の通り学校運営を行ってまいります。

以上